【1】日刊（除月曜）　昭和25年10月6日第三種郵便物認可　昭和26年7月16日運輸省特別認承扱第684号　磐城日日　昭和27年（1952）8月27日（木曜日）　第615號

磐城日日

發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集兼發行人　長瀬芳郎

県下より八百余名参加
戸籍事務連絡協議會
小名浜、勿來、好間表彰さる

第十一回県下戸籍事務連絡協議會は二十七日午前十時から平市公会堂において、法務府上野事務官、厚生省笹本事務官、仝會田統計調査部長ほか、加藤仙台法務局長、佐藤法務局戸籍課長、小野福島法務局長、福島家庭裁判所青木平支部長、高橋地検平支部長、地方法務局若松、郡山、白河、中村各支局長はじめ県下五市十七郡下事務擔当者八百名が参会の上開催された

先づ協議会長（佐藤福島市長）欠席のため諸橋平市長会長代理として地方行政事務中戸籍事務が如何に重大な役割を果しているか、また今次の住民登録実施に際し寝食を忘れて全事務の完遂に努力された諸氏の労を多とするとの挨拶があり、小野福島地方法務局長の訓辭、會田厚生省統計調査部長の挨拶があってのち、優良戸籍事務擔當吏員及び人口動態調査事務優良市町村の表彰が行われ、優良吏員として石城郡上遠野村書記延々彦重氏ほか十三名、優良町村として小名濱町ほか十九町村が厚生大臣官房統計調査部長賞を受けた石城郡下の受賞町村は次の通り

▽小名濱町

▽勿來町

▽好間村

次いで法務總裁より受賞者に對し記念品が贈呈され、午後から協議事項の決議に入ったが、住民登録と従來の戸籍事務の関連性をめぐる幾多の重要議案が提出された、その中から主要なものを拾うと

▼戦災戸籍を再製せずにいた單身者が死亡して戦災地の本籍を記載した届出であったが「本籍地見当らず」として返送された、この場合受附町村としてどんな処置をとるか

（郡山事務協議會提出）

▼朝鮮人男と日本人女との婚姻届出前に出生した子について、いま父たる朝鮮人から嫡出子出生届があったが受理して差支えないか、若し受理出來ないときはどんな方法を取ったらいゝか

（会津戸籍事務協議會提出）

▼住民登録後第三十條の規定により市町村の係員に事実の調査をする權限が與えられたがその調査の結果戸籍の記載に誤りがある場合住民票の記載は戸籍の記載に從うか、それとも今次調査の結果に基づいたものをとるか

（白河支局管内事務協議會提出）

ほか福島地方法務局本局管内事務協議会提出議案の養子が養父母中養母とのみ離縁する場合に関する養父、実父母、特別代理人等の関係等慎重な討議が続けられた

なお二十八日も引續き午前九時から續会され上野法務局事務官、並びに會田厚生省統計調査部長の講演が行われる

小名濱
消防團の變遷
③

昭和十四年四月消防組と防護團とが混成のかたちで出來上った警防團の初代団長として、町助役であった高木保氏が推薦され副團長に野崎貞行氏仝木田谷平氏が推され防空に防火に本土防衛のためと稱され訓練また訓練、そして実際の空襲へ日頃きたえた防空、防火の訓練をもってあたった時には敗戰といういまわしい浮目であった

昭和二十一年八月終戰後初の團長として現消防署長御代龜太郎氏、副團長に黒澤廣氏仝橋本佐多壽氏が推薦任命され昭和二十二年九月に消防團と改稱され、消防団令に基く新しい組織發足となり各種團体が解散されて軍隊なき後の唯一つ残された団体となった

そして初代団長に引續き御代龜太郎氏、副團長に黒澤廣氏仝橋本佐多壽氏に代り小浜茂氏が新組織に基く選挙制に依り推薦された

昭和二十三年三月を轉機として長い傳統をもつ我國消防の歴史は根本的な改革が實施され、そして生れたものが今日の消防團制度であり法的に根據づけられたのである

昭和二十五年二月黒澤副團長辭されて時の第二分團長であった樋口二郎氏副團長に推薦任命され、今年四月一日終戰と同時にまた本部消防部と改稱され仝二十四年十一月新装なるトヨダシャシーにて大型ポンプを購入されてポンプ四台と消防部員四十四名に増加され、名稱を小名濱町常備消防部として新発足した

昭和二十六年七月一日常備消防部を常勤者十八名の小名浜町消防署に改変團長である御代龜太郎氏を初代署長兼務として名實共々そなわる消防署となる、仝二十六年十月団長の任期滿了と同時に団長は志賀要平氏署長として御代龜太郎氏任命され現在にいたる

旅館主人の心遣い
県体ソフト大会の秘話

スポーツ関係の公式大会は小名浜に於いて再々開催されたが、今回の女野球?、ソフトボール程人氣を呼んだものはなかった、大會三日間天候には余り恵まれなかったにもかゝわらず、三万五千以上の觀衆をのんだ盛況振りは小名浜町民が如何にスポーツに對して理解をもつかを如實に物語っているものである、大会當事者たる町當局を始め各關係者もさぞ満足されたことであろう

この県体競技開催地の割當会議に於いてソフトボールが小名浜町に決定されたとき、關係者は非常に心配されたという、それはソフトボールなるものがどんなものかと云うことを一般が認識しているか甚だ疑問であったからである、小名濱高校の成田、加藤兩教諭は何んとかしてソフトボールを一般に知らせたいと努められ、本紙もまたその解説を掲載して啓蒙に当る等本大會の成果を擧げ得た蔭には兩教諭のたゆまざる努力のあったことを見のがすことが出来ない

※　※

福島女高の宿舎となった後宿「なると」旅館は過般当町第一中学校コートに於いて行われた庭球大会の際優勝した福島高校の宿舎となったところで縁起をかつぐわけでもあるまいが福島女高も「あら私達ちも勝たねばならないわね!!頑張りましようよ」と戦前既に氣分的に「ツイていた」（くじ運）ようだ、然し優勝候補と自認する白河女高との第一戦よりクロスゲームを演じ何れの試合をみても楽勝したものはなく持ち前の「ネバリ」を如何なく發揮して勝を制した点よりみて必ずしも「ツイていた」とばかりは云えない、結局は努力の賜である

制覇なって郷土に錦を飾る選手一同がなると旅館をたつに当り「おばさん色々とお世話になりました、おばさんのお蔭で勝つことが出來なんとお禮を申してよいやらわかりません、有難う御座いました、裕治ちやんに呉れ呉れもよろしくね!!」「と瞼をうるませ別れの挨拶をしていた、これには客を預かる旅館主の心やりが若い乙女達の胸をたいた一つの秘話がある

なるとの主人芳賀トクさんには裕治（四）ちゃんという可愛いゝ一人息子があるが、選手達は「あら可愛い坊やね!!お姉ちやん達と遊びましょう」と試合前のひとときを遊びたわれていた、そして「裕ちゃん!!お姉ちゃん達キット勝ってくるわね!!待ってて頂戴よ」といゝながら試合にのぞみ、見事勝って宿舎に帰った当座は勝ったうれしさと明日の策戦に裕ちゃんのことなど忘れていたが夕刻頃になって「あら裕ちやんの姿が見えないじゃないの!!どうしたのかしら」と不審に思いながらも疲れているため一同は寝てしまった、翌朝「おばさん裕ちゃんはまだ寝んねしているの!!」と聽いたところ芳賀さんは「いゝえ子供が居ては皆さんも充分おやすみになる事が出來ないと思い親戚へ預けてきましたの!!」これを聽いた一同、いたく感激しどうしても優勝して歸りましようと決意をあらたにして各試合毎に全力を盡くして戰ったという

荷物の急行小口扱
國鐵の減收打開策

國鐵では民間自動車定期便の發展に伴い、激減して行く貨物收入激減を憂え現状を維持する目的のもとに急行小口扱を開始してスピード輸送を行うことになった、この急行小口扱とは發送駅から受取人宅迄を鐵道の責任に於て輸送するもので、代金引替配達、運賃着拂の扱もあり料金は普通小口扱の五分增に配達料を加算しもので丸通に依託した従來の額とほとんど同額である、その上従來の輸送時間を二分の一に短縮するため一般より期待されている向との扱開始により普通小口扱は総て驛止となる

天氣豫報　28

【本日】南合暑へ天氣は良い見込です

【海上】大体穏かな方です

魚菜市況　27

【小名浜魚市場】

六五〇～七三〇すずき七五〇～四〇〇そげ四〇〇～四六〇はも二六〇まだこ三五〇

【小名浜中市青果市場】

鶏卵一〇～一三胡瓜一、五～一〇人参五〇～一〇〇大根三～七里芋五一～九〇甘諸三五～九〇唐君三～五玉葱五〇～六〇葱二〇～六〇生姜七〇～一〇根牛蒡二五〇～三五〇トマト一〇一一五南瓜一二～三〇大和芋二五〇～二六五馬鈴薯三〇～四二双豆五～二〇玉菜九〇丸大根七一七牛蒡六〇七〇

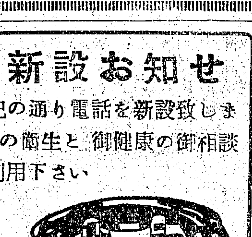
整形外科　外科
内科　胃腸科
性病科　婦人科
歯科　レントゲン科

醫療法人　松村病院

院長　松村亨
大田耕作　佐藤正雄
西村文男　岸本隆夫
松村政次　新妻春治

平市駅前大通り　電話170番に

電話新設お知せ
此の度下記の通り電話を新設致しました　皆様の衛生と御健康の御相談に是非御利用下さい



小名濱局
678番

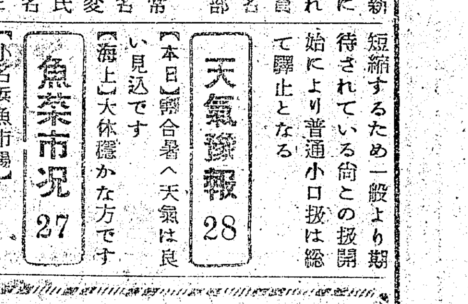
サイトウ藥局
小名浜町松之中

古い歴史と信用本位
丈夫一式の定評ある
平形製傘工場
平市古鍛冶町二九

産婦人科
レントゲン
久保田醫院
院長　久保田眞
副院長　久保田眞一
助産婦　久保田イネ
小名浜町横町（電二二）

離れ座敷増築
環境浴槽
湯本随一
（各室電話の設備あり）

割烹旅館
[illegible]



常磐線湯本町
湯本温泉
電話（湯本）13番

縣旋網漁協組の總會
三代組合長重任
乗出資金は一統百五十萬

縣旋網漁業協同組合（組合長三代義勝氏）總会は廿六日午後一時より小名浜漁業協同組合會議室に於いて開催、二十六年度事業報告、財産目録、貸借對照表及損失金處理案などの承認をもとめた後次の議題を審議決定した

一、二十七年度事業計畫として「イワシ」揚繰漁業再興のため縣より三千萬円の融資を決定

一、定款第九條第三十六條の變更

一、借入金最高限度を六千萬円に決定

一、餘裕金預け入れ先を東邦、常陽 七十七の各銀行と縣信用漁業協同組合連合會、中央金庫などに決定

一、縣保證による着業資金は一ヶ統に對して縣は最高限度百万としているが今年度は百五十万圓

續いて役員の改選、顧問の推薦を行い次の通り決定をみた

顧問＝野崎貞行（小名濱）比佐政種（小名濱）草野増太郎（江名）石井鐵三郎（四ッ倉）

組合長＝三代義勝（小名浜）

専務理事＝佐々木繁太郎（小名浜）

理事＝長谷川芳太郎（四ッ倉）新妻弘良（四ッ倉）久田重晴（原釜）三代義勝（小名濱）佐々木繁太郎（小名浜）高橋賢治（小名浜）鈴木七郎（小名浜）野崎武一郎（小名浜）比佐一郎（小名浜）草野繁（小名浜）

監事＝長谷川萬壽（四ッ倉）高橋喜正（小名浜）柳葉平太郎（小名浜）

國鉄ダイヤ改正
平湯本に通勤列車

國鐵では全國的に列車時刻の改正を行うが、常磐線は本土と北海道を結ぶ交通改善と急行列車の混雑救済対策として臨時急行を上り、下り各一本宛増発、更に駐留軍専用列車に日本側車輌を連結、また従来の臨時措置列車を定期列車に変更、その上平を中心とする通勤、通学列車を運轉する等大巾の改正を行い九月一日より実施することになつた

なお通勤 通學列車は朝登校出勤時に湯本、平間に運轉するが、これはあくまでも通勤 通学を目的とするもので、休日、日曜など必要認めざる時は運轉を休止するものである

無線士會の臨時総會

小名浜無線通信士會（会長小野源右衛門氏）では來る三十日午前十一時より全町漁業協同組合會議室に於て臨時総会を開き次の議題ついて協議する

▽トロール漁業に際しての海上無線運營について

△魚獲向上のため各無線所と密接なる連結をなす内容の充實について

▽遭難緊急萬全の處置對策について

△小名浜無線通信士会新規入会員の顔合せ

夏井川に漁協組結成

夏井川の淡水魚の保護と増殖を計り合理的な利益を上げようとする全川流域一市三町十七ヶ村の漁業者から成る夏井川漁業組の結成は、上小川村白井二郎氏等が發起人となり奔走していたが、平水産事務所、平市役所農務課なども地方水産振興の建前から大いに力こぶを入れ二十七日午後一時から平消防署会議室で關係町村漁業者約三百名が參集、夏井川漁業協同組合創立總會を開催した

先づ第一種「しぶみ」の増殖と採取問題、第三種地曳網に対する「はや」「鯉」「ふな」「すば」等の漁獲規約、第五種「鮎」漁に對する養殖と漁獲の問題等に關する規約を制定して、組合の定款作製後役員選擧が行われるが、初代組合長には上小川村白井二郎氏が選出される見透しである

サッカーは熱戦続き
最終日には模範試合

（既報）植田小學校で行われた縣体サッカーの第三日目（廿五日）は朝から降つたり止んだりの天候にもめげず二千余の観衆がグランドにつめかけた、高校の部三位決定戦会津高校対郡山商高は午前九時より開始され両軍敢斗して得点與えず延長戦に持ち込む大熱戦を展開したが雌雄決せず遂に引分となり両軍三位と決定した、次いで行われた相馬高校對福島工高の決勝は息詰まる白熱戦となり観衆また必死の聲援をおくり、一点先取された相馬高校の追撃も遂に及ばず1對〇にて福島工高辛うじて勝ち國体縣代表となつた

また一般の呉羽化學對三菱電氣の決勝戦は三菱の棄權により呉羽の優勝となつた、續いて午後一時より大会役員対呉羽チームの模範試合が行われ、歳はとつても昔とつた「キネヅカ」とばかりベテラン振を發揮して一点を先取したが、若さにものをいう呉羽は見事なチームワークに着々得点して3A―1にて完勝した

なお地元植田町婦人会及び末亡人会、青年会では三日間に亘り場内整理、接待、選手の世話などに汗だくの奉仕をなし感謝されている

埠頭と妥協成る
小名濱自勞の賃上げ

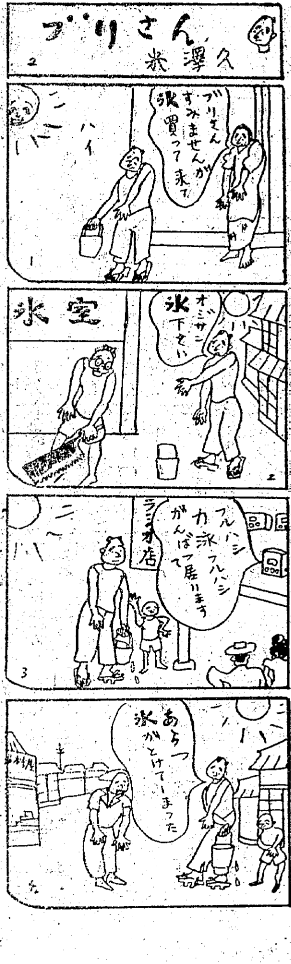
小名浜自由勞組では兼ねて小名濱埠頭会社に對し勞働賃金の値上げ（二百五十円）を要求したところ会社側は現下の經營状況よりみて到底承認出來ずとあつて未解決のまゝ今日に至つたが、立花秀吉氏が調停に乘り出し二十六日午前十一時半より小名浜臨港鐵道クラブに佐藤平職安所長、馬上土木課長、木村失對委員長浦出臨港社長が臨席し、埠頭会社より石津專務、自由勞組側より長瀬組合長外八名の代表が出席して交渉を行つた結果、自由勞組としても埠頭会社の疲弊をよく認識して讓歩することになり、會社側も最初提示した二百二十三円を二百三十圓として交渉がまとまつた、また勞組側では職場の危險防止と今回行つた賃金要求は職場ストとみられないよう希望を述べ会社側もこれを了として六ヵ以來燻つていた問題も無事解決をみた

「ブリ」二千貫
丸高大敷に入る

二十七日小名浜魚市場には早朝より「ブリ」が二千貫水揚され人氣を呼んでいたが、これは小名浜町丸高漁業部の大敷にて獲つたもので漁も當分續くとみられている、相場は貫當り二百五十圓

また宮城縣氣仙沼港の明神丸（一二〇噸）＝船長浜口源夫氏＝「カツオ」四千貫を水揚、二百五十圓～三百圓で引取られた漁場は金華山沖東五〇〇哩から七〇〇哩の附近で相當の群がみられた

◎事務員を募る
中卒以上の女子
町内居住者
希望者は学歴及身元證明書御送付あれ
追て面會日通知す
長瀬印刷ＫＫ


ブリさん
米澤久
ハイ
ブリさん すみませんが 氷買つて来て
氷室
オジサン 氷下さい
ラジオ店
フルハシ 力泳フルハシ がんばつて居ります
あらつ 氷がとけてしまつた

鮫川の伝説 ④
錦町 蛭田仙吉

船頭は青くなつて代官役所にかけつけました、ときは磐城の國湯長谷、一万五千石内藤能登守の領分で役人は鈴木源之進と申し、訴へによつて供人を連れ鮫川の渡場へとかけつける、老公の一行三人は悠々として船の中に腰かけている

乱暴したのはあの三人で……船頭が指さしたから鈴木源之進きつと見ると町人の姿とそしてゐるが、前に御目に掛つたことのある佐々木助三郎、白髪の老人は一、二度お見上げ申した事のある前副将軍水戸黄門公に相違ないので驚ろき、慌てゝ衣紋を正しまして、へへエーとそれに平伏をした

集まつていた連中何がなにやら判りません、この時川下より上つて來た枝川、森山の兩人も源之進からそれを聞いてイヤ驚くまいことか、仰天してそれえ恐れ入つて深くおわびを申上げる、この時に西山公が矢立の筆を取つて白扇へ、

一 無銭堅く無用の事
一 公用たりとも士民同船たるべき事
一 喧嘩口論堅く無用の事
右の各條相守るべきもの也
鮫川渡守へ 梅里

とお認めになつて源之進へお渡しになつた、それが鮫川扇の掟といつて、その土地の寶物となつて居るとのこと、今は何人が持つて寶物として居るのやら……

鮫川は春から秋にかけての舟遊び、夏の網引きと魚つり、一日の清遊に好適の地で、遠方からの團体客も年毎に増加しつゝあり、觀光地として有望視されている

錦帶も勢多も之には
及ぶまじ
鮫川橋の
春のあけぼの
（瀧川瀰太郎氏作）

粹なところでは、

〽夏の涼みは鮫川の
引きつ引かれつ地引網
あみがもつれて深い仲
鮒（船）が取りもつ
エンカイナ

外にまだ〳〵鮫川を取り入れた都々逸なども二、三あるがまたとのつぎ傳説を書いた時にしよう
（終り）

▼營業所開設御知らせ▲

今般皆さまの御要望によりまして全國的に安全・高配・秘密の三原則で知られて居ります『三井信託金庫平營業所』が当地方に初めて開設されました
何卒今後共御支援御利用の程御願い申上げます

事業内容

株式投資……俗にいう株式投機でなく實觀・經驗を積んだ幹部が各界より情報・觀測・見透しの助言を得て集合した大資本により堅實な市場操作を目標とした株式賣買操作を致します

金融機關への投資……永年の実積を上げて居る堅実な一流金融機關へ投資し當庫幹部が直接監督權を持つて運營し利潤を上げます

對外貿易……主として東南アジアの諸物資を輸入、買付先の渇望する國內製品を輸出致し高益を上げます

三井信託金庫
平營業所

本店 東京都中央區銀座西八ノ八（都ビル）
電話代表（銀座）七九九四番
振替口座 東京 六八九九七
理事長 三井 叙輔
營業所 福島縣平市新川町二九 電話三八番

眞の女性美は……
御調髪のセンスから……
皆様がキットお氣に召す
技術と感覺はスヅランの
自慢でございます
鈴蘭美容室
小名浜町下横町（駅前通り）

新菓特許
アイス（チョコレート）ロール
【壹ケ拾円】
本品は夏季趣好品として
絶対口あたり良く
お年寄の方にも召しあがれます
栄養百パーセント
製造販賣所
松田屋冷菓店 小名浜町中島 電四二
熊田屋菓子店 小名浜町西町 電五五四
まるたん 小名浜町古港 電三三〇

経費をかけずに良い品安く
専門店会チケット御利用下さい

御子様へ御菓子	
動物ヨーチエン	百匁60円
ビスケット	百匁50円
學生さんへ	
上質ノート 16枚	5円より
上質大學ノート	15円より
野球帽	55円より110円
赤タスキ赤白帽	15円より
御嬢さん奥様へ	
夜具地 反	270円より
白生地ヤール	55円より
化粧品御屋メヌマ ジユジユベピリオ	80円
花王洗濯石鹸徳用型	10円
御勤の皆様へ	
ネクタイYシャツ	特別奉仕
皮底サンダル	460円より
男女雨靴	650円より各種

小名浜第二小學校前
皆様の店 平マーケット
電話297番